

# びんごみのトビ ラ



【特集】市民インタビュー

## 生ごみは宝

自然の循環を生かして有機肥料に

生ごみ堆肥化めぐみネット・羽村

P2

### 3月定例会について

- 平成28年度予算審査 P 4
- 議会活動アルバム P 9
- 審議した主な議案  
議決結果一覧 P 13
- 市政について問う  
《一般質問》 P 14
- 議会の主な活動 P 23

No.111

平成28年  
5月1日発行  
(通巻220号)

# 生

## ごみは宝

### 自然の循環を生かして有機肥料に 生ごみ堆肥化めぐみネット・羽村

グループ誕生のいきさつは

**関** 消費生活センターで、堆肥化の実践をしていた者たちが、平成23年2月の第41回羽村消費者の日「生ごみ燃やさない・わいわいトーク」をきっかけに、めぐみネットとして活動を始めました。

**なぜ生ごみを堆肥にしようと思ったのですか**

**関** 生ごみは価値のあるもの、と考えています。人間が食べないだけで、ヘタや皮はその植物の一番大事なところ。だからホントは捨てたくない。野菜を育てることより、生ごみを捨てずに生かすことから活動が始まっています。



完成間近の堆肥。臭いはない

活動にいろいろ工夫をされているようですが

**関** 段ボールや木箱などをコンポストとして使っています。どんな形でもいいので、生ごみを捨てないで堆肥を作る。生ごみから作った堆肥は、化学肥料とは比較にならないくらい良いんです。畑を借りて、できた堆肥は皆で使うようにしました。

**浅見** そうしているうちに、防カビ剤などを使った食品はなかなか堆肥にならないので、良い堆肥を作るために、良い食品を食べるようにになりました(笑)。

**それがまた安全な有機肥料になりおいしい野菜が育つんですね**  
**どんな作物を作っているのですか**

**浅見** 試験的に少しずついろいろなものを植えています。化学肥料を入れているので、自然な味の野菜

ができます。夏は、オクラ、キュウリ、ナスなども作ります。

**関** 畑の近くにある適応指導教室「ハーモニースクール」にも収穫体験してもらったり、白菜やネギを分けています。地域の皆さんにもなるべく奉仕したいと思います。

**他にはどんな活動をしていますか**

**関** 27年度は、段ボール堆肥の講座を3回実施しました。小中学校への出前授業も、これまで、一中・二中・富士見小・東小へ行きました。

**学校へも行くんですね**  
**子どもの反応はどうですか**

**浅見** 生徒さんは真面目に聞いてくれますよ。私たちも何人かで授業をするので、楽しくやっています。こういうことができる原理、生ごみには価値があることを伝えたいです。  
**島田** 子どもは、大人が思いつかないような質問をしますね。「3か月

市内には、さまざまな活動を通じて市民の暮らしを支え、力づけている方が大勢います。議会として、そのような方々の活動を知り、また市民の皆さんにもご紹介しながら、議会の役割を考えていきたいと思えます。第10回は厚生委員会取材しました。(3月11日)

【表紙の写真】めぐみネットの畑で収穫した野菜とメンバーの皆さん(平成28年3月20日撮影)

たつと発酵が進み、箱の中の様子が変わる」と説明したら、「3か月たつと微生物はどうなるの?」と聞くんです。大人にはそういう発想はないですから。



ダンボールコンポスト講座の様子。男性の参加者も多い

**関** どうすれば子どもが飽きないか、皆で工夫しています。日本の土1グラムの中に1億以上の微生物がいて、それによって生き物はすべて土に戻されるといふ自然循環の話します。同じことを、段ボール箱と生ごみを使って、1億よりもっとたくさんさんの微生物がいる堆肥を作り、自然よりも早くやるんだよ、とか。割といい授業やっていますよね(笑)。

**上善** この会で、教員や大人を対象にした講座もやってみたらいいと思っています。子どもの教育も大切だけど、大人にはより即効性がありますからね。

**関** 公園や空き地の隅に堆肥箱を作って、近所の方に生ごみを入れてもらい、世話を決めて、どんどん堆肥を作り、できた堆肥を皆さんに分ける、というサイクルを作りたいです。スパーに協力してもらったり、いろんな形で堆肥化できる。作っていいっていうならどんどん作っちゃいますよ(笑)。

**浅見** やり方次第で、いずれ生ごみを完全になくすことも可能かもしれませんが。生ごみ回収車とか。方法は色々あると思うので考えていきたいです。



羽東地区に借りている畑で、これからの作付計画を練る



春キャベツ収穫中!



定期的に堆肥をまぜる

#### 【インタビューにご協力いただいた方々】



上善峰男さん。畑体験40年のノウハウを生かしています。



鈴木勝さん。体に優しい安全な食物を追求しています。



島田誠一さん。雨水の活用を通じて地球温暖化対策に取り組んでいます。



浅見加代子さん。堆肥と畑の世話を情熱的にこなします。



めぐみネット代表、関美智子さん。活動を楽しく広げます。

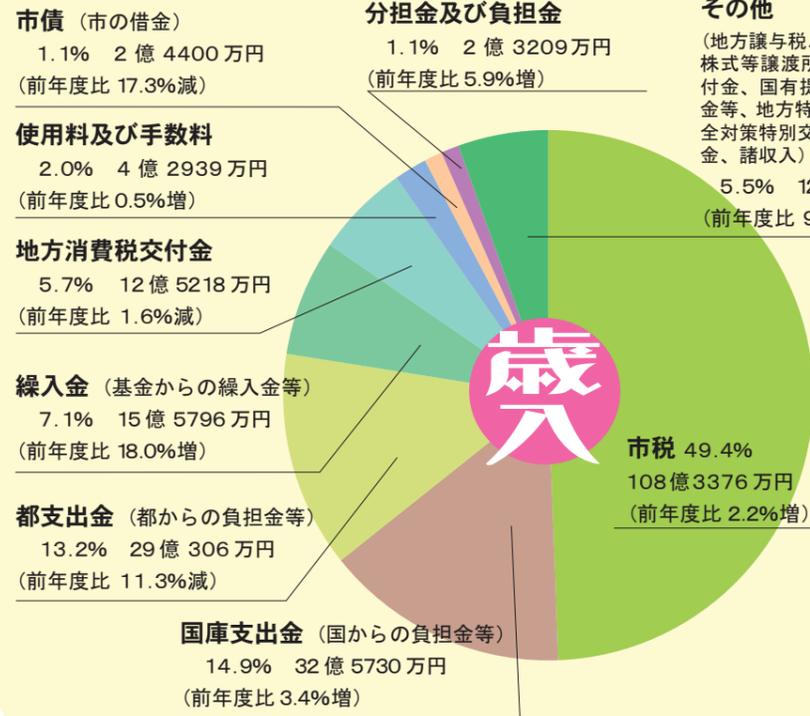
#### 生ごみ堆肥化めぐみネット・羽村

生ごみを堆肥化し、ごみの減量と、安全な野菜作りに取り組んでいます。現在会員は31名。毎月第1金曜日の午前中と、随時、畑で活動しています。興味をお持ちになったら羽村市消費生活センター042(555)1111(内線640)までお問い合わせください。

#### インタビューを終えて

単に「ごみを減らそう」と訴えるだけでなく、自ら楽しく工夫を重ね、子どもにも自然の循環について考える機会を持たせる。非常に魅力的で実のある活動を展開していると感じました。お忙しいところ色々ご協力いただき、ありがとうございました。

一般会計予算(歳入) 219億2000万円



市民税個人分は、給与所得が増加傾向にあることによる増、法人分は、大手企業等の業績が堅調に推移するとの見込みによる増。市民税全体では、前年度と比較して、1億3104万円の増額となりました。

普通交付税については、市税収入の増加等に伴い、基準財政収入額が需要額を上回るものと見込み、不交付になると予測し、計上されていません。\*

平成28年度羽村市全体の予算規模

375億6761万円

過去最大規模 前年度比 3.5%増

一般会計等予算審査特別委員会

羽村市が活性化・発展し続けるための予算を

可決

予算審査は、その金額や使い道が、羽村市の現状や市民ニーズに添った内容であるかどうかを、特別委員会を設置して審査するものです。

平成28年度当初予算も、議長を除く17人の委員で構成された予算審査特別委員会(委員長：門間淑子議員、副委員長：水野義裕議員)で、3月15日、17日の3日間、にわたって慎重に審査しました。

その結果、7会計(一般会計と、5つの特別会計、水道事業会計)の新年度予算すべてを、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

この特別委員会の審査結果を本会議最終日に報告、一般会計は修正案が出されましたが否決となり、7会計の予算をすべて原案のとおり可決しました。

特別委員会での審査の概要をお知らせします。

※内容は要約しています。詳細は会議録をご覧ください。

★インターネットで会議録をご覧になる場合は「羽村市議会」↓「会議録の検索と閲覧」

↓「平成28年特別委員会」

↓「平成28年度一般会計等予算審査特別委員会」

一般会計予算Q&A

歳入

**Q** 再編交付金(駐留軍等の再編の円滑な実施に関する特別措置法に基づく交付金)は、28年度が最終だが、29年度以降の見通しは、交付金が終了した場合、現在交付金を充当している事業はどうするか。

**A** 特別措置法なのでこれに代わる交付金を求める要望を横田基地周辺5市1町と東京都で国に提出している。再編交付金は全額を「健康で安心して暮らせるまちづくり基金」に積み立て、ヘルスアップ健診事業、妊婦健診等事業などに充当している。万が一交付金が終了しても、29年度以降も一般財源により継続して実施していく。

**Q** 市民税法人分として、10億円を超えた額を見込んでいるが、業績アップは一部大手企業だけか。

**A** 法人分は、景気回復と、主要大手企業を中心とした伸びをみて前年比に比べ5.7%増としている。前年と比べ収益の伸びがあった13社のうち12社が中小企業だったことから、徐々に業績改善が図られていくと思われる。

**Q** 軽自動車税の増税で、どのくらい税額が上がるか。

**A** 平均で、原付が950円、軽自動車税が1266円、小型特殊自動車税が1000円、小型二輪が2000円上がる。

※普通交付税制度とは

地方自治体間の財源の不均衡を調整し、住民が標準的なサービスを受けられるように、国が徴収した税(所得税・法人税・酒税・消費税・地方法人税)の一定割合を自治体に配分するものです。国の一定のルールに基づき算定された「基準財政需要額」と「基準財政収入額」の差により、普通交付税の交付・不交付が決定されます。「基準財政需要額」より「基準財政収入額」が少ない場合は普通交付税が交付され(交付団体)、多い場合は交付されません(不交付団体)。不交付団体であるということは、自主財源が豊かであるということであり、羽村市は平成27年度、6年ぶりに不交付団体となりました。

**Q** 今後の基金に対する市の考え方は。

**A** 財政調整基金は11億円以上の残高を堅持しつつ、将来を見据え、総合的なバランスを考慮しながら無理のない安定的な財政運営をしていく。



4月に認可保育園になった「チュール保育園」

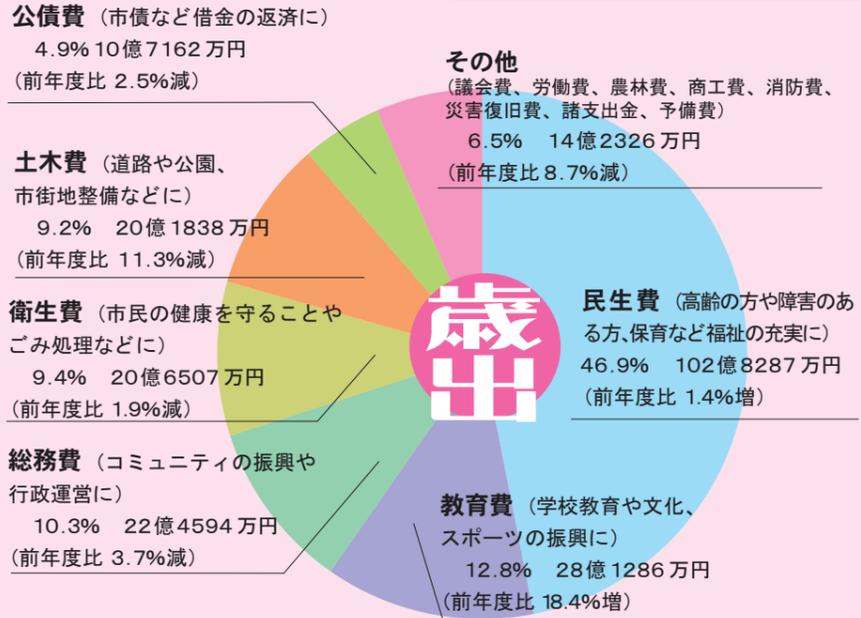


4月から病児保育を委託する「ばば子どもクリニック」



障害者就労支援センター「エール」

一般会計予算（歳出） 219億 2000万円



子育て支援策の充実を図るとともに、産業振興や安全・安心なまちづくり、公共施設の老朽化対策などを着実に進め、都市基盤整備を推進していくことなどに重点を置いた予算となっています。教育費は、小作台小学校と羽村西小学校、スイミングセンターなどで改修工事の予算が計上されたことにより、増額となっています。

**Q** 近隣市町村の調査などを行う中で、28年度には大まかな方針が決まってくると思われる。

**A** 発達障害のお子さんに、乳幼児期にも通級のように週2〜3回対応するシステムがあるといいが、現在は相談の内容に応じて保健センターで、小児神経専門の医師による相談が受けられる。今後そのようなシステムも検討する必要があると考えている。

**Q** 一時預かりと延長保育が増えるそうだが、場所は。

**A** 一時預かり事業は玉水保育園、延長保育事業は4月に認可保育園となるチュール保育園で、新たに実施する。

**Q** 障害者就労支援センター「エール」の、地域開発促進コーディネーターの仕事内容や体制は。

**A** 障害者の就労希望の掘り起こし、障害者雇用に取り組む企業への支援など。人員は1名で、企業が障害者雇用を進めるための理解促進を働きかけていく。

**Q** 生活保護に要する経費の増減について、28年度の傾向は。

**A** 27年度は26年度に引き続き増加傾向だが、若干ゆるやかに落ち着いてきていると感じる。その状況を踏まえ、28年度は4・7%程度の増加を予算計上した。

**Q** 高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定のための基礎調査の対象者と狙いは。

**A** 65歳以上の一般高齢者10000人、在宅サービス利用者4500人、介護保険施設入所者2500人の約17000人にアンケートをお願いし、介護サービスの利用動向、自立した高齢者の生きがい対策、社会参加意図等の実態把握を目的としている。

**Q** 化学農薬を低減した農家への交付金の対象農家は。

**A** 都のエコ農産物の認証を受けている方が対象。28年度は2人が対象となる。

**Q** サイクリングステーションの検討は、どのような形で行うか。

**A** 産業担当と企画担当で先進地の視察を行った。今後はシテイブ口モーション担当なども含め、庁内で検討委員会を設ける。

歳出

**Q** 東京2020オリンピック・パラリンピックの招致ができる可能性はあるのか。市民に対してはどのようなメリットがあるか。

**A** 練習施設、宿泊施設があり、交通の便も良く、ボランティア育成の経験があるので優位性は高い。事前キャンプ招致には、郷土愛の醸成など、金額では推し量れない効果がある。28年度に国や種目を絞り込んで、そこに強い事業者が支援業務を委託したい。

**Q** 病児保育はいつから実施か。対象、費用は。

**A** 28年度の新規事業として市が委託し、4月から実施する。生後6か月〜小学6年生の、病氣中などで安静が必要なお子さんが対象で、やむを得ない理由で家庭で育児ができない場合に利用できる。病児保育は1日1000円。病後児保育は0〜1歳が2800円、2歳からは2300円。

**Q** 児童クラブは民営化の方向で考えているのか。

賛成

**様々な市民ニーズに対応できる予算**  
子育て・福祉の分野の様々な施策、また生涯教育や市民参画でも新たな施策が始まり、市民ニーズに対応できる予算となっている。(民進党)

賛成

**重点施策が具体的に反映されている**  
被災地への支援、子育て支援策の充実、産業振興、公共施設の老朽化対策、都市基盤整備推進など、重点施策が具体的に反映された本予算を評価する。(公明党)

反対

**西口予算を減らせれば切実な要望に応えられる**  
過大な土地区画整理事業を見直し、予算を減らせれば、もっと高齢者福祉、教育、子育てなど市民の切実な要望に応える施策の充実が図れると考える。(日本共産党)

賛成

**喫緊の課題に取り組む予算**  
子育て支援策充実や産業振興、安全・安心なまちづくり、公共施設の老朽化対策や都市基盤整備など、喫緊の課題に取り組むために必要な予算規模である。(新国会)

反対

**委託業務が多く事業内容が不明**  
はむらの魅力発信・知名度向上を図るといいうが、委託業務が多く事業内容が不明である。区画整理事業への繰り出し5億4200万円は認められない。(世論)

賛成

**活性化への積極的な施策転換を評価**  
地方創生の加速化に即応した市独自の施策展開、地方公会計の整備に向けた財務諸表類の作成準備など、活性化への積極的な攻めの施策転換と評価できる。(新しい風)

委員の意見

予算審査特別委員会での審査の過程で出された、委員の意見です。

# 議会活動 アルバム



1月15日 議員研修会「東日本大震災と復興の課題」。吉川謙造先生に、土木工学の見地からみた被災地の復興の現状と課題について講演していただきました。



2月3日 議員研修会「誰も自殺に追い込まれることのない社会へ」。自殺の現状と要因、対策の取組み状況などを、清水康之先生が代表となっている団体の活動状況を交えて伺いました。



2月12日 東京都市議会議員研修会で府中の森芸術劇場へ。「世界一の東京オリンピック・パラリンピックの実現と多摩地域の振興に向けて」という内容で、秋山俊行副知事の話をお聞きしました。



2月16日 行政視察受入れ。福島県白河市議会 議会報編集委員会が、広報委員会を視察にきました。お互いの状況など有益な情報交換ができました。



3月15日～17日 平成28年度予算審査特別委員会を開催しました。新年度予算について、活発な質疑が行われました。



## 国民健康保険

### 反対 国保税値上げの予算に反対

今年度と比較して平均9.6%の国保税引き上げの予算となっており賛成できない。  
(日本共産党)

### 賛成 喫緊の課題に取り組む予算

平成28年度予算を精査したところ、特に問題はない。今後も国民健康保険事業の健全運営に向け、一層の経営努力を行うことなどを要望し、賛成する。(新国会)

## 区画整理

### 反対 次世代にツケを回す予算に反対

平成28年度予算は14億180万円と今までの3倍。とりわけ借金7億7000万円での土地購入と補償費は次世代へのつけ回りで認められない。  
(世論)

### 賛成 事業の先行きを捉えた適切な予算

事業を進めていくうえで重要な都市整備用地9か所の購入や、「羽村大橋周辺」の工事等となっており、事業の先行きを捉えた適切なもの。  
(リフレッシュ羽村)

**Q** マイナンバーカードで、28年10月頃からコンビニでの証明書発行ができるという話だったが、

**A** はむらんにICカードを導入する費用と設置台数は、はむらん4台すべてに設置する予定。システム導入費として約35万5000円かかる。新規購入した場合には高額になるが、バス会社と検討し、廃止になる路線の機器が活用できた。

**Q** 羽村市の水資源を生かす取組みを、何か具体的に考えているか。  
**A** 「水はむら」や水から生まれた特産品など今後、市民や事業者、団体と一緒に開発していきたい。宣言や条例についても今後、具体的に考えていく。

## 教育

**Q** 当初、28年10月からの予定していたが、システムの不具合やカード発行の遅れなどもあり、半年遅らせている。状況を見ながら実現に向け検討を進めたい。  
**A** 入学資金融資制度の予算が前年度より減っているが、28年3月現在の(27年度)利用件数は12件、26年度は8件。昨年度からは利用が増えている。現状に即して見直した結果、予算は若干減少したものの、利用件数としては周知を図ることによる増を見込んでいる。

帯の4割弱。

**Q** 国保加入世帯とそれ以外の世帯の割合は。  
**A** 国保加入世帯は27年度決算見込みで9278世帯なので、全世界

**Q** データヘルス計画の計画年度とスケジュールは。  
**A** 計画の策定にあたっては、羽村市特定健康診査・特定保健指導実施計画との整合性を検討しながら決定していく。スケジュールは、来年度早々に委託先を決め、データ分析に基づいて事業計画を策定する。パブリックコメントの予定は今はないが、内容により検討する。

## 特別会計予算Q&A

### 国民健康保険

**Q** 28年度から小地域ケア会議を開催することになっているがどのように行うのか。  
**A** 27年度は個別ケア会議を開催してきた。28年度は個別ケア会議に加えて小地域ケア会議を開催する。詳細はまだ未定だが、概ね小学校区を単位に年2回の開催を考えている。

### 介護保険

## 区画整理

**Q** 公有財産購入費として6億1500万円計上しているが、何か所か。  
**A** 9か所19筆。面積にして約4730㎡である。